

鈴木氏一門のルーツは和歌山県の熊野にあり、本姓は「穂積氏」という。穂積氏は、その昔多大な権力を誇った物部氏の後裔にあたり、豪族として紀伊半島南端を支配した後、祭祀を司っていた。

和歌山県熊野の人々は古代から稲作を営んでおり、季節ごとに農耕神事が行われていた。中でも、大切なものとされたのが、その年に実った最初の稲穂を神に捧げる儀式。刈り取った稲穂を積み上げ、真ん中に1本の神木を立てながら、祈り、魂を宿すという風習を「ホズミ」、神木のことは「ススキ」と呼んでいた。やがて「ススキ」は儀式全体や神官を指すようになり、「スズキ」に変化。いつしか一族の呼称となったという。このように、「鈴木」とは、稲作にまつわる祭礼に縁の深い名字であり、「聖なる儀式・聖なる者」という語源がある。



鈴木には神のパワーが宿る!?

「鈴木姓」発祥の地はどこ?

和歌山県海南市藤白が鈴木家発祥の地。

900年程前の平安時代、紀州熊野の豪族であった鈴木家の一門が、藤白の領主となり、この地に「鈴木屋敷」を建てたといわれる。これが鈴木家発祥の地である。鈴木家は先祖代々この屋敷に住み、地域の人々を束ね、町の繁栄のために活躍。熊野三山が誕生すると、京の都から、聖地・熊野へと向かう皇族・貴族をもてなし、参詣道の要所を守った。藤白の領主として尽力し、後に熊野信仰や稲作を全国に広めたのが「藤白の鈴木家」。現代の鈴木さんが直系の先祖をさかのぼっていくと、多くはここにたどり着くといわれている。

MEMO 全国鈴木家の総本山

日本三大古道のひとつ、熊野古道の入口にある熊野権現社「藤白神社」。熊野三山にゆかりの深い由緒ある神社で、熊野の神々と鈴木家の氏神である「ニギハヤヒノミコト」を祀っている。この神社のすぐ近くに、「鈴木屋敷」がある。イザナギノミコトから始まり、鈴木重吉まで約122代続いたが、1942年に断絶し屋敷の老朽化が進んでいる。現在、藤白神社の宮司を中心とした「藤白鈴木会」が、復元を目指して活動中。2013年には、「第7回鈴木サミット&鈴木フォーラム」を開催した。

- 藤白神社 和歌山県海南市藤白466
- 鈴木屋敷 和歌山県海南市藤白468・486



「鈴木」とは、積み上げられた稲穂、稲積の頂点に立てられた聖なる木のこと。

そもそも、「鈴木」とは何を意味する?

歴史ロマン漂う「鈴木さん」の謎を追う

日本の名字の多くは、「山」「川」「田」など、地形や土地の様子に由来するものが多い。しかし、「鈴木」姓は地名にルーツがあるわけではない。では、「鈴木」とは、どんな意味なのか?そして、なぜこんなに多いのか?「鈴木姓」に隠された謎を解くことで、浜松の鈴木さんの魅力が見えてくるはず。



地域ごとに偏りはあるものの、「佐藤さん」「鈴木さん」は東日本を中心に多く、西日本にはさほど多くはない。そこには、古代日本の歴史や名字のルーツが関係してくる。

そんな中、東京・神奈川・千葉・埼玉などの関東圏や静岡・愛知を中心に、圧倒的な数を誇る名字がある。あなたのまわりにも必ず一人はいる、いわば日本の名字の代名詞。そう、「鈴木さん」だ。ちなみに現在、日本で一番多い名字は「佐藤さん」。「鈴木さん」は2番手である。

しかし、浜松市においては、圧倒的に「鈴木さん」だ。冗談でも何でもなく、まわりを見渡せば鈴木さんだらけ。「東西南北、隣家はみんな鈴木さん」という町も存在する。

また、浜松市長も鈴木姓、浜松市の人口の約7%にあたる5万6千人も鈴木姓。そして、浜松市役所の職員も7.3%が鈴木姓……。そう、ここ浜松市は、日本一「鈴木さん」がいる「エリア」なのだ。そして多くの「鈴木さん」が浜松の産業を支え、さまざまな分野で活躍している。名前こそありふれてはいるものの、「鈴木さん」にはキラリと光る何かがある。それは、ルーツに隠されているのか、はたまた環境なのか……。

今号では、浜松の「鈴木姓」に受け継がれるDNAを探り、「鈴木さん」が栄えた理由を探ってみよう。



みなさんは家族以外の人を呼ぶときに「名前」で呼ぶだろうか?いや、ほとんどの人が「名字」を用いているだろう。名字は自分を示すものであり、相手を示すもの。当然、会話におけるコミュニケーションツールに欠かせないものである。日本における名字の種類は非常に多く、約30万種類ともいわれている。

浜松の鈴木さんはこんなにいます!

全国で200万人以上いるとされる「鈴木さん」は、主に東海、関東、東北地方の東のエリアに集中する。静岡県では県民の人口の約5%が鈴木さんで全国1位、浜松市では市民の人口の約7%が鈴木さんで、これまた全国1位である。



1位の「佐藤さん」、2位の「鈴木さん」と「ゆるきゃら」の不思議な関係とは?

「ゆるきゃら@グランプリ2013」で1位となった「さのまる」の地元・栃木県佐野市。「佐藤さん」のルーツは、この佐野市にあるという説がある。佐藤姓は、下に「藤」の字がつくことでもわかるように「藤家姓」のひとつ。つまり、藤原氏の末裔だと言われている。平安時代中期に東国一帯で勢力を広げた武士・藤原秀郷が、下野国佐野(栃木県佐野市)に居を構え、佐野の「佐」をとって「佐藤」と名乗ったことが、諸説ある中のひとつとされている。「さのまる」を輩出した佐野市は、日本一多い名字「佐藤姓」のルーツ。そして、グランプリ2位の「出世大名康くん」の出身地は、日本で2番目に多い「鈴木姓」が最も多い街。不思議な偶然だ。



日本の神話と鈴木さん

『古事記』や『日本書紀』などの神話・物語のなかにも、鈴木さんのルーツが隠されている。藤白鈴木家の系譜は、日本国を作ったイザナギノミコト、イザナミノミコトからはじまり、ご祭神として祀っているニギハヤヒノミコト、そして、物部氏、穂積氏を経て、鈴木姓へとつながっている。

「鈴木さん」日本一の街

浜松の「鈴木さん」のDNA

日本で多い名字の代表格「鈴木」は、東日本を中心に圧倒的な数を誇る。中でも最も多いのが静岡県。そして、日本一「鈴木さん」が多い街は浜松市といわれる。なぜ、鈴木はこんなに多いのか?そもそも「鈴木さん」とは何なのか?その謎を追ってみよう。



取材協力 / 浜松鈴木さん倶楽部 鈴木建也さん
参考文献 / 紀州藤白 鈴木屋敷を育てる会 「紀州藤白 鈴木屋敷ものがたり」

稲作に縁がある No.1づくし!
鈴木さん 食を守る農家の鈴木さん

浜松市は農家の数が日本一多い、農業王国。その数は13,855戸を越え、耕地面積は市民一人当たり約48坪(畳96枚分)の計算で、静岡県1位の広さを誇る。もちろん、農業従事者の名字は「鈴木さん」が最も多く、全体の約8.5%!2位の中村さんを6%近く引き離している。

「鈴木さん」が多いのは、古代の鈴木さんが、農耕文化を広げる役割も担ってきた証とも言える。そんな鈴木さんのDNAに、農業に適した温暖な気候という環境が加わって、代々農業を営み続けてきたのだろう。



鈴木さんの野菜は味も格別じゃよ!



浜松の鈴木さん 悲喜こもごも
あるある! エピソード

浜松で暮らす鈴木さんのリアルボイスをご紹介します。「わかる～」と
思った全国の鈴木さんは浜松にすぐ馴染めるはず!

小学校、中学校とクラスには鈴木だらけ。「鈴木さん!」と呼ばれる
るとみんなで振り向いてしまうのでややこしい。(25歳・女性)

印鑑を忘れて困ったとき、たいていまわりに鈴木さんがいるので、
借りることができる。(32歳・女性)

病院や銀行などで名前を呼ばれる際、「鈴木〇〇さん」とフル
ネームで呼ばれるので、気恥ずかしい。(50歳・男性)

初めて会う人でも、いきなり下の名前で呼ばれることがよくある。
「ドキッ」とするが、親近感が湧きやすい。(45歳・女性)

名刺交換の際、「〇〇の鈴木です」「あら!私も鈴木ですよ!多くて困っちゃいますよ
ねえ」とひと盛り上がりでき、仲間意識が芽生える。(35歳・女性)

取引先の「鈴木さん」という担当者に電話をしたとき、「鈴木は5人おりますが…」と言わ
れることも少なくない。なので、「髪が長くて眼鏡の方」と言っても失礼にならない。むしろ
特徴を伝えた方が親切。(42歳・男性)

鈴木さんにしか
分らない悩みも
あるのじゃな



会員は全員「浜松鈴木さん楽会」がある!
鈴木さん

「鈴木」という名字を誇り、大いに楽しみたい。そして鈴木さん同士で交流を深め、町お
こしのきっかけが作れたら…。2010年、そんな思いから発足したのが「鈴木さん楽会」
である。毎年定期的にイベントを行い、「鈴木さん」たちを盛り上げているそうだ。



鈴木さんの心得10ヶ条

- ① 鈴木姓を誇りに思う。
- ② 名前はフルネームで名乗る。
- ③ 自分以外の鈴木さんには親しみを持て下の名前で呼ぶ。
- ④ 他人の鈴木印をあてにしない。
- ⑤ 神社へのお参りは欠かさない。
- ⑥ 米は一粒も残さず食べる。
- ⑦ 鈴木さんの商品、お店を愛用する。
- ⑧ 芸術文化、スポーツ等など、「がんばる鈴木さん」を応援する。
- ⑨ 日本一鈴木さんの多い街・浜松を愛する。
- ⑩ 鈴木さんで楽しい人生をおくる。

■浜松鈴木さん楽会 事務局 TEL.090-4867-7947
http://suzukigakkai.hamazo.tv/

会員は皆、心得ているのじゃ。



鈴木さん(日本一の街・浜松なら)では!
鈴木さんになまっつわる
驚きの真実



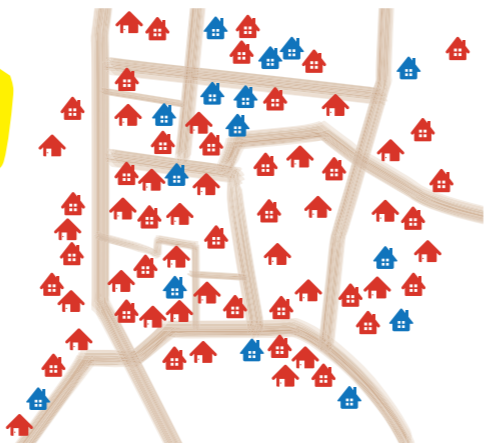
「鈴木さん」だらけの街には、他の街にはない驚きが満載だ。

恐るべし!

篠原町の鈴木さん密集エリア

浜松市の西区にある篠原町は、遠州灘を望めるのどかな地域。日本一出荷が早い「白たまねぎ(新たまねぎ)」が特産で、篠原町の農家の多くが栽培している。この町は実に3人に一人が「鈴木さん」であり、日本一の鈴木さん密集地帯。通りを歩けば、前も後ろも、右も左も表札はすべて「鈴木さん」。小・中学校の生徒たちも鈴木さんだらけ。最盛期にはクラスの半数以上が鈴木さんだったという。篠原町では「鈴木さ〜ん」と呼んでも、誰のことかわからない。ゆえに下の名前で呼ぶのが常識である。

🏠 鈴木さん 🏠 その他



篠原町の一画、約200m四方のリアルマップなのじゃ。こんな「鈴木さん密集地区」は、全国でも珍しいのじゃ。



武家として全国を
駆け回る「鈴木さん」

平安末期になると、日本に「家族」という形態が生まれ、鈴木姓を受け継ぐ子孫たちが全国に広がっていった。本家から分家が独立し、武将の家臣となる者も多かったという。中でも有力武士団として力を持っていた、愛知県東部・三河地方の鈴木一族は、後に松平家(のちの徳川家)の家臣となり、浜松、駿府、江戸へと移り住んだといわれている。また、徳川家康公の家臣の中で最も多い名字も「鈴木」だったといわれており、これが、東海から関東地方に鈴木姓が多くなった要因のひとつとしてあげられる。



浜松城公園に建つ、若き日の徳川家康公の銅像



■鈴木家住宅 浜松市東区中郡町 ※現在立ち入りできません。



熊野信仰を広めるために活躍した「鈴木家」は、全国に点在する約3,200社の熊野神社の神官をつとめていた。各地に住みつき、私心や権力にとらわれることなく村をまとめ、人々の信頼を得ていたという。熊野の神様を祀った分社は、中世の人々にとっての心のよりどころとなり、村の平和と治安維持になくてはならない存在であった。この布教活動とともに、鈴木の名前は全国に広まり、信仰心の厚い武士や農民たちは、由緒ある「鈴木」姓を続々と名乗るようになったのである。熊野信仰は太平洋側の海上交通に乗り、東日本へ多く伝わったため、現在でも東海から関東地方に鈴木姓が集中している。「日本一鈴木姓が多い」浜松市西区篠原町は、源義経に使えた家臣・鈴木重家の子である重信がルーツと伝えられている。1411年に子孫の重尚が当地を開墾したといわれる。

MEMO 熊野神社はパワースポット!

浜松市内に多数ある熊野神社のひとつ高塚熊野神社。約940年前、熊野本宮の神主が諸国行脚の途中でこの地に足を留めて祭祀したといわれている。現在は、浜松のパワースポットとして広く知られており、境内にある推定樹齢約500年の椎の木「雲龍椎(うんりゅうしい)」を目当てに、県外から多くの人々が訪れている。



■高塚熊野神社 浜松市南区高塚町4708 TEL.053-448-2288 http://www.takatsukakumano.com

家康公がとどまる場所には
鈴木さんあり

徳川家康公と、浜松の鈴木さんの深いつながり

徳川家康公は29歳〜45歳までの17年間を浜松城で過ごした。浜松城時代に多くの武将たちと壮絶な戦いを繰り広げ、徳川300年の歴史の礎を築いたといわれる。この浜松の地に、徳川家にゆかりの深い「鈴木家」があった。江戸時代、浜松藩領内に四つあった特に格式高い庄屋「独礼庄屋」のひとつが、その「鈴木家」である。家康公は鈴木家に側室・阿茶の局を預けており、鷹狩りの帰りにたびたび立ち寄ったという。阿茶の局は才色兼備として知られ、戦場にもたびたび同伴し家康公を支えた。阿茶の局が過ごした独礼庄屋「鈴木家」は、家康公の天下統一に向けて、重要な役割を果たしていたといえる。

また、武将の家臣としても活躍

熊野信仰を広げる神官として、全国に分散

「鈴木姓」は、どうやって日本中に広まった?

